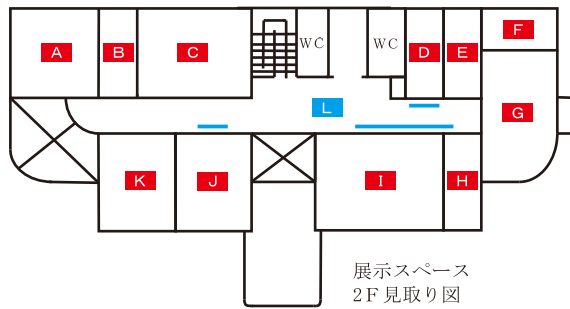


展示室L
壁面には「昭和の平取」を象徴する各産業の写真を11枚展示。その中から木工業の写真を紹介します。

旧荷負小学校展示施設



- A** 商業・生活
- C** 学校
- D** 地域の記憶
- E** いろいろな道具たち
- G** 林業・馬具
- I** 収穫（秋）
- J** 畑・稲作（春）
- K** 家での暮らし
- L** 壁面展示（— 展示箇所）

B・F・H 関係者専用

平取町史によると、戦前・戦後は町内の豊富な森林資源を活用した木材・木製品の製造が盛んで、昭和初期には表谷木工場（本町）、八田木工場（振内町）、石井木工場（本町）などの工場が設立されたとあります。石井木工場は1951（昭和26）年に五十嵐林業所（現在の株式会社五十嵐工業：本町）に引き継がれました。株式会社五十嵐工業には、1958（昭和33）年8月に製材工場とオガ炭工場（左下の写真）が設立されたという記録が残されています。製材工場で木を加工する際に生じたウッドチップからオガ炭を造っていたそうです。その後、オガ炭工場は1971（昭和46）年3月頃、製材工場は1991（平成3）年12月頃に閉鎖されました。

かつては日用品として普及していたオガ炭ですが、時代の移り変わりとともに一般の家庭から徐々にその姿を消していきました。現在では飲食店で炭焼き料理を作ったり、野外で火をおこしたりする際に使用されることが多いようです。

（廣岡絵美・小林斉子）

オガ炭とは

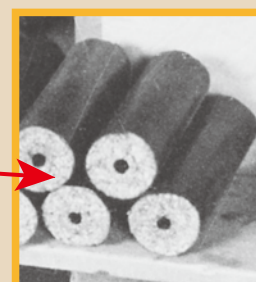
製材所から出るウッドチップやオガ粉、樹皮などを圧縮加熱成形してできるオガライトを炭にしたもの。薪ストーブや調理、風呂焚きなどの燃料に使われた。



写真を拡大してみると…



オガ炭の入った袋に
カネイのオガタン
製造元 イ 五十嵐林業所
と書かれている。
「イ」は「カネイ」と読み、屋号を表す。屋号とは商店や歌舞伎役者などの家の呼び名。



オガ炭の形は、円筒形、四角形、六角形などがある。この工場で作られていたのは円筒形のもの。



五十嵐林業所のオガ炭工場内部の様子(昭和40年代)

《取材協力：株式会社五十嵐工業S様、本町在住T.Y様》



見学のご案内



【開館日時】＊変更の場合あり

5～11月の月・水・金曜日（祝日休館）9:00～12:00

上記以外の日程のご見学についてはお問合せください。

【ご予約・お問合せ】

平取町立二風谷アイヌ文化博物館 ☎01457-2-2892

または 沙流川歴史館 ☎01457-2-4085